

薬剤部 ～情報～

平成30年5月

4月の採用薬品

レグナイト錠300mg (特定個人薬)

アステラス製薬

レストレスレッグス症候群治療剤

【効】 中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）

【用】 通常、成人にはガバペンチン エナカルビルとして1日1回600mgを夕食後に経口投与する。腎機能に応じて1日1回300mgとする（減量基準は添付文書参照のこと）。

【禁】 高度の腎機能障害患者（クレアチニンクリアランス30mL/min未満）

【副】 浮動性めまい、傾眠、悪心等



4月の採用薬品（院外処方専用薬品）

クラリチンレディタブ錠10mg

バイエル薬品

持続性選択H1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤

【効】 アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒

【用】 通常、成人にはロラタジンとして1回10mgを1日1回、食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。

【副】 眠気、倦怠感、腹痛、口渇、嘔気・嘔吐、ALT・AST上昇等



ペンタサ錠250mg

杏林製薬

潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤

【効】 潰瘍性大腸炎（重症を除く）、クローン病

【用】 添付文書参照

【禁】 重篤な腎障害のある患者、重篤な肝障害のある患者、サリチル酸エステル類又はサリチル酸塩類に対する過敏症の既往歴のある患者

【副】 下痢、下血・血便、腹痛、発疹、発熱、肝機能異常等



4月の区分変更薬品

常備薬品→注文薬品

アミノレバン注、モニラックシロップ65%

常備薬品→院外専用薬品

ビラノア錠、エネーボ配合経腸用液、パセトシン細粒10%



4月の削除薬品：エルシトニン20S，ロピオン静注，アベロックス錠，ノボリンR注フレックスペン

当院採用の経口抗凝固薬について簡単にまとめました

薬剤名		DOAC（直接作用型経口抗凝固薬）			
		ワーファリン錠 1mg	プラザキサカプセル 75mg・110mg	エリキューズ錠 2.5mg・5mg	リクシアナOD錠 30mg
用法・用量		1～5mg 1日1回	1回150mg 1日2回	1回5mg 1日2回	1回60mg 1日1回
作用機序		ビタミンK拮抗	直接トロンビン阻害	第Xa因子阻害	
バイオマーカー		PT-INR	なし		
腎障害時の 投与調節		【禁忌】重篤な腎障害	【禁忌】CCr 30未満	【禁忌】CCr 15未満	
			慎重投与 CCr 50以下		
減量考慮	腎機能	-	CCr 30～50	血清Cr 1.5以上 ※	CCr 15～50
	年齢		70歳以上	80歳以上 ※	-
	体重		-	60kg以下 ※	60kg以下

※エリキューズは3項目中2項目を満たす場合は減量する

